

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
1	単	映像産業を軸とした観光・産業振興と地域ブランディング事業	社会教育課・歴史館	①奄美群島徳之島の小さな自治体ながら、国指定の史跡や天然記念物を3か所も有する伊仙町で、縄文の時代から続く島の暮らしを物語る史跡や自然地形、景勝地、その他観光資源を映像化し、観光目的の移動がままならない時期にも地域の魅力を発信する。 ②文化遺産データベースシステム構築費、文化遺産データベースWebデザイン委託料、システム利用料、映像制作委託費、資料デジタル化委託費、カメラ等備品購入費(ビデオカメラ一式、GoPro一式、ドローン一式)、ドローン講習手数料 ③講習会手数料 99,000円、デザイン委託料 77,000円、システム構築委託料 788,700円、映像製作委託料 1,271,050円、資料デジタル化委託料 2,307,577円、システム利用料 176,000円、備品購入費(ビデオカメラ一式 100,381円、GoPro一式 156,750円、ドローン一式 329,725円) ④-	5,306,183	5,305,627	①成果・効果 ビデオカメラ等:一式 GoPro等:一式 ドローン等:一式 歴史・文化情報発信ウェブサイト製作 文化遺産データベースシステム構築 収蔵資料デジタル化作業:約33,000点 文化遺産映像制作:6点 ②評価 資料館のHPにて、文化遺産に関する情報や映像を公開し、資料館に来館しなくても伊仙町の文化遺産の魅力に触れる機会を創出した。効果的に伊仙町の魅力を発信できたと考えられ、令和4年度9月時点で、令和2・3年の来場者数を超える状況となった。アフターコロナにむけた教育・観光の場の回復が見込めるようになった。	今後も映像機器を駆使し、新たな地域の魅力をHP等を通して発信していく。またデジタル化した資料が膨大であることから、今後も継続的な利用が見込まれる。
2	単	図書館パワーアップ事業	社会教育課・中央公民館	①今後も対応が見込まれる三密を避けるために、移動図書館車両による屋外での貸し出し、返却を可能にする。また突発的な休校措置などで自宅学習を余儀なくされる子供達を中心に、地域の人々が近隣で本に触れる機会を創出し、外出規制による制限を少しでも緩和する。 ②車両購入費及び図書購入費 ③③移動図書館車両:1台 6,435,000円 ネーミング募集チラシ作成費 104,500円 広告チラシ折込料 17,435円 図書購入費:1,900冊 2,443,000円 ④-	2,564,935	2,564,000	①成果・効果 ・書籍購入数:1,883冊 ・購入総額:2,443千円 ②評価 ・外出規制があった中、本に触れる機会を創出し例年と比較し1万冊増の貸出となった。	今後も突発的な休校措置等での自宅学習と高くなった読書に対するニーズに寄与していく。
3	単	社会システム維持のための衛生確保事業	健康増進課	①町民の交流施設であり、災害時の避難所である「ほーらい館」内で感染があった場合、速やかに消毒や清掃活動を実施するための必要な体制を構築する。 ②コロナ関連避難所2カ所と併せてゴミの収集や清掃を行う目的として、軽トラック1台を購入。 ③軽トラック1台1,595,000円 ④-	1,595,000	1,595,000	①成果・効果 軽トラック1台 ②評価 災害時の避難所であるほーらい館内でコロナ感染もなく、速やかに消毒や清掃活動を実施するための体制が構築できた。 避難所以外にも、毎日のゴミ収集やほーらい館周辺の環境整備などで、清掃作業として多く利用している。	今後も避難所開設時の感染症防止対策やその環境整備、また館内だけでなく、周辺作業の環境整備も継続して行っていく。 町民の皆様が感染不安を感じることのない過ごしやすい施設にするべく、引き続き衛生確保に努めたい。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
4	単	伊仙町テレワーク環境・サテライトオフィス整備事業	未来創生課	<p>①</p> <p>I.これまで取り組んできたサテライトオフィス事業実績を活かして魅力あるサテライトオフィス・テレワーク環境を整備し、コロナ禍で働き方変革を迫られた企業の、課題解決の受け皿となるサテライトオフィス及びワーケーションの場を提供する。</p> <p>II.これまでのお試しサテライトオフィス事業参画企業や、新型コロナウイルスの影響等から地方進出を検討している企業に対し、伊仙町サテライトオフィス進出を働きかけ、人、しごとの流れを加速させる。</p> <p>III. 地元住民に対しても、多世代向け学びの場、自学自習スペース、コワーキングスペースを提供し、生徒児童、UIターン者、女性、高齢者を含む地元住民に対して、地域雇用の担い手としての人材育成を行う。</p> <p>IV.テレワーク事業を誘致することにより、UIターン者を含む地元住民に対し雇用の場を提供する。サテライトオフィス進出企業と地元事業者との共同事業も推進する。</p> <p>V. あらゆる世代が仕事や学びに活用出来る環境を整備し、伊仙町総合戦略の柱であるUIターン施策を促進し、「生涯活躍のまちづくり」構想を加速させることで全国離島モデルを構築する。</p> <p>②,③交付金を充当する経費内容・積算根拠 物品費5,085,840円 改修工事費19,351,510円 設計・管理費1,500,000円 構築・運営システム導入委託費4,620,000円 旅費600,000円 印刷製本費500,000円 通信運搬費100,000円</p> <p>④-</p>	31,339,000	31,339,000	<p>①成果・効果 旧徳之島農業高等学校の4階を改修し、コワーキングスペース、サテライトオフィスとして貸しオフィス、テレビ会議室が完成。企業向けに3部屋の貸しオフィスを設置。</p> <p>②評価 本町においては、地方創生の取り組みがスタートした当初から、サテライトオフィスの誘致活動を行ってきた。町内には、光回線が敷設されており、テレワークを実施する環境は整っているが、一方で、企業の受け皿となる貸しオフィスがなかったことから、最終的に企業進出につながらなかった。今回、施設が完成したことにより、オフィス開設を模索する企業向けにPR活動を仕掛けることが可能となった。令和4年度に首都圏企業1社がサテライトオフィスを開設した。</p>	世界自然遺産の知名度を生かしたPR活動を展開し、オフィス開設の誘致活動を行い、サテライトオフィスの利用率向上を図る。
5	単	さとうきび生産継続支援事業	経済課	<p>①感染症拡大防止のための外出自粛要請により、収穫作業及び適期の管理作業に遅れが生じていることから、次年度産の収量の減少が見込まれている。そのため本町の基幹作物であるさとうきびの生産継続及び生産回復に対する支援を行う。</p> <p>②適期管理に資する資材(植付・株出用の肥料、除草剤及び病害虫対策用資材・薬剤)の購入費用の一部及び管理作業費用(深耕・心土破碎・植付・株揃・中耕・根切排土)の一部、また収穫作業委託料の一部を、R1/R2年産の生産実績の割合にて助成する。</p> <p>③対象生産数50,191t(R1/R2年産生産実績)、単価500円/t</p> <p>④さとうきび生産農家</p>	25,000,000	25,000,000	<p>①成果・効果 ・交付対象者:1,603名 ・対象面積:95,897a ・交付金額:25,000,000円</p> <p>②評価 多くの生産者がこの事業を実施したことにより、令和元年生産実績(51,432t)から令和2年生産実績(60,404t)が高かったことから、品質向上及び生産者の意欲向上に繋がった。</p>	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請により、収穫作業及び適期の管理作業に遅れが生じていることから、生産者の意欲向上のため、この事業を実施したが、現在までのところ今年度については生産抑制の要請はない。今後、再度生産抑制の要請が发出された際には、同事業を再度実施するか検討したい。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
6	単	コロナウイルス感染症予防事業	総務課	<p>①感染症予防と感染拡大防止のために町民(6,566人)への配布するマスク、台風襲来時における避難所(4カ所)での感染防止のためのパーティション、公衆浴場や再開された介護予防教室(計29カ所)にて使用する消毒液や手袋等の衛生消耗品を購入する。また感染対策として「段ボールベッド」が衛生的にも望ましいといった観点と、台風時の避難所開設の際も足腰の不自由な高齢者等が多く、密にならないように工夫して利用する。</p> <p>②備品購入費、衛生消耗品購入費</p> <p>③・噴霧器(1台)19,800 ・ペーパータオル(290個)49,445、(200枚入17個)83,130 ・除菌消臭器(9台)475,200 ・口腔ケア感染対策消耗品(歯ブラシ、歯間ブラシ、デンタルフロス、ポリドント、ウエットシート、スポンジ、ケア用ジェル、洗口液)30,320 ・除菌タブレット333,300 ・手袋(100枚入40箱)54,460、(30セット)12,930 ・体温計(非接触型31個)242,441、(電子17本)40,296 ・マスク(3セット)479,050、(2,000枚入2箱)269,500、(50枚入145箱)287,000、(30枚入6箱)15,840 ・パーティション(窓口用37枚)250,360、(区画用14枚)273,020 ・フェースシールド(75個)19,500、防護服(90着)385,770、予防衣(10組)9,770 ・段ボールベット(40個)451,000 ・感染対策消耗品(洗剤、ゴミ袋、ゴミ箱、ハンドソープ(衛生管理)、配布マスク用ビニール袋100枚入32個、検温用具入救急箱3セット、検温セット用ケース2個、ワンタッチテント2個、消毒容器10セット)78,607 ・消毒液(避難所等施設用12個)132,819、(介護予防教室用58個)83,300 ・ハンドソープ(4個)24,640 ・アルコールハンドジェル(24本)23,760</p> <p>④マスクの配布:町民(6,566人) パーティションの設置:避難所(4カ所) 衛生消耗品の配置:介護予防教室(29カ所)</p>	4,125,258	4,125,000	<p>①成果・効果 ・噴霧器(1台) ・ペーパータオル(1,310個) ・除菌消臭器(9台) ・口腔ケア感染対策消耗品(歯ブラシ、歯間ブラシ、デンタルフロス、ポリドント、ウエットシート、スポンジ、ケア用ジェル、洗口液) ・除菌タブレット ・手袋(70セット) ・体温計(非接触型31個)(電子17本) ・マスク(2,000枚入2箱)(50枚入145箱)(30枚入6箱)他3セット ・パーティション(窓口用37枚)(区画用14枚) ・フェースシールド(75個)、防護服(90着)、予防衣(10組) ・段ボールベット(40個) ・感染対策消耗品(洗剤、ゴミ袋、ゴミ箱、ハンドソープ(衛生管理)、配布マスク用ビニール袋100枚入32個、検温用具入救急箱3セット、検温セット用ケース2個、ワンタッチテント2個、消毒容器10セット) ・消毒液(避難所等施設用12個)、(介護予防教室用58個) ・ハンドソープ(4個) ・アルコールハンドジェル(24本)</p> <p>②評価 避難所や公共施設、介護予防教室での感染症対策として、備品等を整備したことで、コロナ禍における避難所開設準備や介護予防教室、公共施設の運営を行うことができた。 マスク配布を行ったことで全町民に対して感染拡大防止対策に取り組むことができた。</p>	<p>避難所や公共施設、各種イベントの感染症対策については、衛生用品等の配布により感染者の報告もなく、非常に有効であったことから、各施設やイベントで使用する衛生用品や備品等については今後も整備を進める。</p>
7	単	コロナ対策協力給付金給付事業	きゅらまち観光課	<p>①感染症感染拡大防止のために県からの休業協力要請に応じた町内事業所へ追加で定額の給付金を給付する</p> <p>②負担金補助及び交付金(コロナ対策協力給付金)</p> <p>③100千円×30事業所=3,000千円</p> <p>④-</p>	3,000,000	3,000,000	<p>①成果・効果 ・給付件数:33件(飲食店29件、代行業4件) ・給付総額:3,300,000円(100,000円×33件)</p> <p>②評価 飲食業・宿泊・観光業、交通事業者等に対して、休業や時間短縮に取り組んでいただくことで感染予防ができた。また、その影響を受けた事業所に、幅広く支援することができた。</p>	<p>コロナ後を見据え、今後事業継続支援などを検討していく必要がある。</p>

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
8	単	軽症者避難施設整備事業	総務課	①軽症者が発生した際に宿泊所として借上げる施設の整備や施設で使用する消毒液等を購入する ②施設整備・消毒液等消耗品購入 ③施設整備 1,775,486円×1施設 施設修繕 543,136円×1施設 施設消毒機器 1,056,000円 ④-	3,374,622	3,374,000	①成果・効果 整備・修繕施設:喜念バンガロー、義名山体育館 購入機器:消毒器(3台) ②評価 軽症者が利用する施設の修繕等の整備を事前に行うことができた。 消毒機器を整備したことにより迅速な消毒作業を行い、感染拡大防止を図ることができた。	今後も、導入した機器を活用し、感染リスクの軽減を図る。 今回整備した施設については今後の利用に備えて、施設の維持管理を行う、今後も必要に応じて各施設の整備を検討していく。
9	単	伊仙町生活応援事業	未来創生課	①町民全員(6500人)を対象に町独自の商品券を配布、また子育て世帯を対象に現金を支給し、生活支援と地域経済の活性化を図る。 ②2万円分の商品券(1万円分:町内登録事業所、1万円:商工会加盟店専用券)を発行、子育て世帯への給付として現金(18歳未満を対象とし1人あたり3万円、また事業費を精査し追加支給も行う)を給付しその事業執行に係る経費(商品券の作成、発送、換金等)を交付対象経費とする。 ③事務費として ○パートタイム会計年度任用職員報酬等人件費 3,670,454円○需用費(消耗品598,171円、修繕費21,800円、印刷製本費134,200円)○役務費(通信運搬費1,590,184円、広告料81,535円、口座振替手数料126,280円、商品券制作業務委託料 1,527,350円)○使用料及び賃借料(パソコン・機器リース料277,000円)○システム改修負担金 308,000円 ・負担金補助及び交付金(商品券補助金129,327,000円 子育て給付金40,462,500円) ④町民、子育て世帯	178,190,000	178,190,000	①成果・効果 ○商品券発行事業 R2.7.1時点に住基に記載のある全町民を対象とし1人あたり2万円分を支給(発行額) 6,554名×20,000円=131,080,000円 ○子育て世帯生活応援給付金事業 高校生以下の児童・生徒を持つ世帯を対象に1人あたり3万円の給付金(世帯主による申請方式) ②評価 発行商品券のうち延べ129,327,000円分が町内にて利用され、また子育て世帯給付金は1,245名分:40,462,500円が支給され、コロナ下における町内事業所と町民生活の支援に大きく寄与することとなった。	今後も新型コロナが及ぼす町民生活と事業者への影響を注視しながら、適切な交付金事業を展開していく。
10	単	公共的空間安全・安心確保事業	社会教育課	①伊仙町内で感染者発生時の隔離施設開設時に、感染者及び濃厚接触者間での三密を回避するため、施設内設置予定のトイレを増設し、感染者の増加を防止する。特にクラスターが発生した場合を想定し、隔離施設を分散しても対応できるよう準備する。 ②仮設トイレ購入 ③¥473,000×7基 ④伊仙町	3,311,000	3,311,000	①成果・効果 ・隔離施設や災害時の避難所開設の際、常時設置できるよう準備していたが、幸いのところ、現時点までに多人数の利用がないため、現場での活用はない。 ②評価 ・当事業活用により、クラスター発生時の多人数での隔離施設や避難所利用等のトイレについては分散対応可能であり、衛生面について、安心・安全な利用が可能となる。	・隔離施設や災害時の避難所開設の多人数利用がいつ発生するか油断できない現状に変化はないため、有事の際に常時対応可能な体制を継続する。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
11	単	町の魅力活け行け整備事業	社会教育課・歴史館	<p>①-1町内には国指定史跡、天然記念物をはじめとして固有の自然、文化、歴史を擁する魅力的な文化財が数多く存在する。これらを巡るフィールド活動は3密回避、ソーシャルディスタンスの確保が可能であり、足元を見つめる地元学、世界自然遺産へつながる自然資源を学ぶ場、また健康づくりにもつながる。本事業では主要道路から各サイトへ続く経路の安全を確保し、コロナ収束後にフィールドワークを提供するため、里道や町道・県道周辺を整備する。また、感染収束後も持続的なサービス提供するために維持管理体制を整える。</p> <p>①-2. 伊仙町歴史民俗資料館において、新型コロナウイルス感染防止対策用の備品や設備を揃え、持続的なサービスが提供できるようにメンテナンス管理を行う。</p> <p>②・③交付金を充当する経費内容・積算根拠</p> <p>1. 林道内倒木・下草等除去作業委託費 785,300円(3地点) 枯れ松除去・補修委託 9,779,000円(3地点) 軽ダンプ購入費 1,628,000円×1台</p> <p>2. 物品購入費(除加湿空気清浄機4台・パーテーション20枚) 497,200(4点)+390,500(20枚)</p> <p>④町内文化財・資料館</p>	13,080,000	13,080,000	<p>①成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松枯れ除去・補修3地点(カムイヤキの森、町内東部全域、町内西部全域) ・倒木除去・下草除去2地点(明眼の森周辺、五ラン線) ・屋外文化財(カムイヤキの森)利用者数の増加(R2:181名、R3:207名) ・軽ダンプ1台 ・除加湿空気清浄機4台(資料館内) ・パーテーション20枚(資料館内) <p>②評価</p> <p>コロナ禍での国立公園普通地域指定の影響も相まって、整備後、自然・文化・歴史が学べる場として需要が高まり、学校機関やエコツアーなどを通して利用者数が増加した。資料館においては、感染防止対策を図る一助となった。</p>	世界自然遺産登録を受け、コロナ収束後の屋外文化財の利用者数増加が想定されるため、安全なサービス提供ができるように継続的に維持管理をしていく必要がある。資料館内では見学者と職員ともに安全な利用ができるように、引き続き感染防止対策を図る予定である。
12	単	図書館パワーアップ事業②	社会教育課・中央公民館	<p>①図書館内の三密を避けるために、資料室での読書を可能にし、感染防止策の一環として空気清浄器を設置する。また、移動図書館事業を円滑に実施するため、事前策として簡易的な地域へ本の貸し出しと、三密を避けながらの読書推進のため、出張読み聞かせ等を行うための人員の確保と借用した本の記録(年月日・タイトル・価格等)を行える読書通帳システム事業を導入し、さらなる読書の意欲向上を図る。</p> <p>②施設整備 人件費(会計年度任用職員)</p> <p>③資料室空調整備 297,000円 館内空気清浄器 61,600円×2台、72,600円×2台、190,100円×1台=459,000円 読書通帳システム一式 2,090,000円 人件費1名 6,732円×128日 861,696円 期末手当 34,829円 共済費 130,253円 衛生用消耗品 35,981円</p> <p>④中央公民館図書室</p>	3,908,759	3,908,000	<p>①成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調整備1台 ・空気清浄機7台 ・読書通帳システム導入 <p>②評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策が向上し町民が安心して図書室を利用できるようになった。 ・新しい生活様式の中、読書通帳を導入したことで例年比1万冊増の貸出となった。 	今後も感染症対策を徹底した図書室運営をしていくとともに、コロナ禍でニーズが増えた読書を更に推進していく。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
13	単	公民館コロナ感染予防対策事業	社会教育課・中央公民館	①町公民館(2分館含む)の新型コロナウイルス感染予防対策及びマスク着用等の熱中症対策として、空調及び換気施設を整備し、館内環境を整える。 ②施設整備 ③○空調整備 ・中央公民館 ・分館東公民館 ・分館西公民館 工事請負費 2,339,200円 ○網戸取り付け ・中央公民館 ・分館東公民館 ・分館西公民館 修繕費 820,000円 ○備品購入費 空気清浄器 459,800円 ○衛生用消耗品 1,980円 ④中央公民館・分館東公民館・分館西公民館	3,620,980	3,620,000	①成果・効果 ・空調整備:3公民館 ・網戸設置:3公民館 ・空気清浄機:5台 ②評価 ・感染症対策、マスク着用による熱中症対策を踏まえ空調整備、空気清浄機導入、網戸を設置し、町民が安心して公民館を利用できるようにした。	今後も感染症対策を講じると共に利用者にも対策を促していく。
14	単	公立学校オンライン学習環境整備事業	教育委員会	①新型コロナウイルス等の緊急時においてもICTの活用により、全ての学びを保證できる学習環境を実現する。 ②③ (1)児童生徒1人1台端末の設定保守整備を行う。790台×12,705円 (2)3人に1台分(地方単独事業)のうち未整備分。221台×50,490円 (3)3人に2台分(国費事業)についての国からの定額補助(45,900円/台)への上乗せ分。452台×4,590円 (4)職員用・児童生徒用追加整備分。117台×50,490円 ④公立学校、児童・生徒・職員	49,924,050	29,178,000	①成果・効果 【タブレット導入台数】790台 ②評価 児童生徒1人1台に1台PCと、高速大容量の通信ネットワークを整備することで、多様な子どもたちに最適化された創造性を育む教育を実現することが可能となった。	今後もICT活用の推進を図るため、デジタル教科書や公務支援ソフトの導入等積極的に取り組んでいく。
15	単	コロナ対策協力給付金給付事業②	きゅらまち観光課	①感染症感染拡大防止のために県からの休業協力要請に応じた町内事業所及び関係事業所への追加で定額の給付金を給付する ②負担金補助及び交付金(コロナ対策協力給付金) ③100千円×16事業所=1,000千円 ④休業事業所	1,600,000	1,600,000	①成果・効果 ・給付件数:31件(飲食店27件, 代行業4件) ・給付総額:1,550,000円(50,000円×31件) ②評価 飲食業・宿泊・観光業, 交通事業者等に対して、休業や時間短縮に取り組んでいただくことで感染予防ができた。また、その影響を受けた事業所に、幅広く支援することができた。	コロナ後を見据え、今後事業継続支援などを検討していく必要がある。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
16	単	リモート関係人口創出・拡大事業	健康増進課	<p>①地域を訪れなくても講演や講義などウェブを活用した研修及び講演会や会議を開催し、関係人口を創出し、先進的な情報の発信や学びを得ることができる。</p> <p>②③積算根拠 ウェブ会議用(PC3台110,000円×3台、カメラ13,200円×3台、マイク14,300円×3台、TVモニター99,000円×1台、モバイルスクリーン33,000円×1台、プロジェクター75,900円×1台、TVスタンド39,600円×1台、PAシステム77,000円×1台、マイク・スピーカースタンド22,000円×2、雑費ケーブル等18,700円)799,700円 ネット環境ウェブ会議システム設定委託 142,450円</p> <p>④ほーらい館施設利用者等</p>	942,000	942,000	<p>①成果・効果 ・PC3台 ・カメラ3台 ・マイク3台 ・TVモニター1台 ・モバイルスクリーン1台 ・プロジェクター1台 ・TVスタンド・1台 ・PAシステム1台 ・マイク・スピーカースタンド2台 ・雑費ケーブル等一式</p> <p>②評価 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、研修会や会議・講演会等の開催・出席が困難となる中、新しい研修会等の形として、WEBによる開催・出席にいち早く対応できた。個人・団体、町内・町外問わず、様々な方々に利用され、関係人口を創出し、先進的な情報の発信や学びを得ることに貢献している。</p>	新型コロナ終息後も関係人口を創出し、先進的な情報の発信や学びを得ることができるよう貢献するべく、ほーらい館の施設利用の拡大・施設利用者の増加を目指す。
17	単	健康支援事業	健康増進課	<p>①コロナ下における運動不足解消やストレス解消対策として、各種ウォーキングプログラムにかかる用品を購入し、公民館単位で教室開催や物品の貸出を行い、コロナに負けない体づくりを推奨し、そのための指導員の育成や住民の健康増進を図る。また、世界自然遺産登録を目前に観光のためのトレイルウォーキングとしても活用していく。</p> <p>②③積算根拠 ○業務委託費 (物品購入業務)・スクエアステップマット(ロング11,550円、ショート6,600円)各78個計1,415,700円 ・ウォーキング用ポール26カ所×5セット260本(1本5,060円)計1,315,600円 ・ポール用石突きラバーキャップ200個×286円+税計62,920円 (購入物品管理業務) 月2万円×5ヶ月 計10万円 (講習会、研修会費用)20万円×2回+22万円×1回計620,000円 合計3,514,220円</p> <p>④町民及びツアー来島者等を対象に、事業実施、管理運営等は歩健学研究室に委託予定。</p>	3,514,220	3,514,000	<p>①成果・効果 ・スクエアステップマット(ロング・ショート各78個) ・ウォーキング用ポール26カ所×5セット260本 ・ポール用石突きラバーキャップ200個 ・講習会、研修会開催2回</p> <p>②評価 各種ウォーキングプログラムに係る用品を購入し、地域包括支援センターや健康増進施設ほーらい館と連携した運動教室の開催や物品の貸出を行い、住民の健康増進に貢献することができた。 各種ウォーキングプログラムやスクエアステップの指導員育成のための講習会や研修会を開催した。 また、歩健学研究室の協力のもと、世界自然遺産観光のためのトレイルウォーキングとしても活用された。</p>	地域包括支援センター及び健康増進施設ほーらい館の運動教室の再開に伴い、各種ウォーキングプログラムも再開されるため、引き続き住民の健康増進に活用していきたい。 また、世界自然遺産に登録され、奄美トレイルコースが全線開通したことにより、トレイルウォーキングの需要が高まると予想される。本事業で購入したウォーキング用品の貸し出しを促進し、世界遺産観光のために活用していきたい。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
18	単	災害時避難時の新型コロナウイルス感染症予防事業	健康増進課	<p>①台風襲来時における避難所設置および避難所での感染防止のための機器を購入する。拠点となる避難所で2年前の台風災害の際も1週間ほど施設内で炊き出しなども行った。3密を考慮し今年の台風時は避難所を多く開設したが、前回のように長引く場合は発電機などもある避難所で炊き出しや洗濯、食事の提供などが必要となる。冷蔵庫、ガスレンジ、洗濯機等を設置する。長机については受付等避難所運営上必要。</p> <p>②備品購入費</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角コーン942円×10 ・コーンベッド458円×10 ・コーンバー682円×9 ・コーン標示カバー1,595円×10 ・還元水素水生成器249,700円×1 ・冷蔵庫198,000円×1 ・洗濯機25,190円×3 ・長机 15,000円×5 ・キーパー7,689円×4 ・マット19,250円×6 ・聴診器4,886円×4 ・血压計7,823円×4 ・ホワイトボード9,240円×4 ・パルスオキシメータ21,780円×4+送料319円 ・パーテーション219,450円×2 ・避難所用具入れ3,443円×4 ・ガスレンジ24,000円×4 ・格納庫539,880円×1 ・ワンタッチテント7,689円×20 ・サーマルカメラ187,000円×2 ・サーマルカメラ340,000円×1 <p>④避難所利用者他町民全般</p>	3,048,031	2,913,000	<p>①成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角コーン10個 ・コーンベッド10個 ・コーンバー9本 ・コーン標示カバー10枚 ・還元水素水生成器1台 ・冷蔵庫1台 ・洗濯機3台 ・長机5台 ・キーパー4個 ・マット6枚 ・聴診器4個 ・血压計4台 ・ホワイトボード4台 ・パルスオキシメータ4個 ・パーテーション2台 ・避難所用具入れ4個 ・ガスレンジ4台 ・格納庫1台 ・ワンタッチテント20個 ・サーマルカメラ2台 ・サーマルカメラ1台 <p>②評価</p> <p>災害避難に備え、避難所での感染症対策として、備品等を整備したことで、コロナ禍における避難所開設の準備ができた。また、年々長期化・強大化する台風の襲来に備え、炊き出しや洗濯の準備を整えることができた。</p>	災害避難時における避難所の感染症対策については、新型コロナの感染拡大中だけでなく、収束した場合でも厳格な対策が必要であることから、避難所で使用する備品等については今後も整備を進める。
19	単	子育て支援見守り事業	子育て支援課	<p>①コロナ時期の自粛等により安否確認の必要な家庭へ巡回相談訪問・要対協対象児童宅への訪問等を行い、安否確認や健康相談等を行う。</p> <p>巡回相談等を行う為に保健師を雇い、訪問を行いながらひきこもりや不登校支援、安否確認や家族支援を行う。</p> <p>②保健師賃金 期末手当 通勤手当 社会保険料 燃料費 需用費</p> <p>③保健師賃金 660,220円 期末手当 22,551円 通勤手当 2,000円×6ヶ月 社会保険料 143,186円 燃料費 52,234円</p> <p>④支援が必要な児童や家庭等</p>	890,191	890,000	<p>①支援が必要な児童や家庭に対して訪問し、現状を把握し、学校や教育委員会に情報提供を行いながら支援することができた。コロナ禍において健康確認を行いながら、相談を受けたりアドバイスを行ったりしながら支援を行うことができた。</p> <p>②コロナ禍であったが、感染防止対策を行いながら訪問することができた。密をさけながら対応することができた。</p>	今後も感染防止対策を行いながら、個別訪問や相談に応じ悩みを抱えている家庭の支援を行っていく。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
20	単	子育て支援事業	子育て支援課	①乳幼児健診のための感染予防対策として、三密対策の物品購入 乳幼児は密をさけるのが難しい為、感染予防のための健診時用1人用マットや問診者等が使用するフェイスガード等を購入し、健診会場の感染防止対策の整備を行う。 ②需用費 ③マット 6050円*60枚 363,000円 フェイスガード(使い捨て)及び衛生用品 135,000円 ④乳幼児親子・問診者	498,743	498,000	①マットを購入することで、健診の待機時間に密をさけ対応することができた。家族(親と子)ごとに座ってもらうように対応した。問診者や医師にもフェイスガードを使用し、その都度消毒を行い感染防止対策を行った。 ②マットを敷き距離をとったり、フェイスガードを使用したりすることで感染症対策を行うことができた。	今後も、安心して健診を受けられるように感染防止対策を行い実施していく。
21	-	-	-	-	-	0	-	-
22	単	畜産農家飼養管理維持支援事業	経済課	①新型コロナウイルス感染拡大の影響で、インバウンドや外食の需要が大幅に低下した事により、和牛肉の需要が低下し価格が急落した。現在、価格は回復傾向にあるが、先行きは不透明であり飼養管理の向上、事故防止に努め品質向上へつなげ価格の維持向上を図る。 ②畜産資材導入(スタンション、カウハッチ、監視カメラ) ③スタンション(102基/7,380,720円) カウハッチ(31基/2,678,400円) 監視カメラ(18基/2,937,000円) その他経費は農家負担(負担額1/2) ④町内畜産農家	12,996,120	6,498,000	①成果・効果 ・スタンション:102基 ・カウハッチ:31基 ・監視カメラ:18農家(移動式16基、固定式2基、固定式カメラ追加分2基) ②評価 資材導入を行った農家から下記のとおり評価を受けた。 スタンションの導入により、母牛の体調管理を牛をスタンションで固定し、1人でも作業することが可能になった。 カウハッチの導入で、成長に重要な時期を個別飼養が可能になり、疾病予防や哺育強化につながった。 監視カメラの導入により、牛舎にいない時でも、分娩の発見が可能になり、分娩事故防止や母牛の異常発見につながった。	現在、子牛価格は下落傾向の中、飼料価格は高騰しており、経営継続が困難な時期をむかえている。そのため、今後も継続して管理維持のための支援を行っていきたい。
23	単	公立幼稚園環境改善整備事業	教育委員会	①今後のコロナウイルスに対する感染拡大防止と予防の一環として、幼児教育の活動のメインとなる各保育教室内の環境改善を目標とし、購入する。 ②・空気清浄機 189,200円 ・歯ブラシ・コップ除菌器機 286,000円 ・フェイスシールド 36,000円 ・蛇口本体ハンドル修繕 140,000円 ・オートディスペンサー 8,340円 ・網戸 192,000円 ・サーモグラフィー 217,460円 ④公立幼稚園2園	1,069,000	1,069,000	①成果・効果 【対象】公立幼稚園 2園 【整備】 ・網戸設置 38枚 ・蛇口本体・ハンドル修繕 16個 ・学校飛沫防止ガード 48枚 ・カラーフェイスシールド 48枚 ・児童手指消毒アルサット 2台 ・空気清浄機 4台 ・本表面温度測定用サーモグラフィー 1台 ・歯ブラシコップ衛生保管庫 2台 ②評価 体温測定の実施による発熱者の把握と備品等の整備を講じることで、園内の感染拡大防止に繋げることができた。	職員をはじめ園児へもあらゆる感染症対策に関する高い意識づけを行うことができた。引き続き手指消毒を徹底するとともに、必要な消耗品等については今後も整備を進めていく。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
24	単	修学旅行キャンセル料等支援事業	教育委員会	①学校が予定していた修学旅行を中止したり延期したりすることにより発生したキャンセル料等について支援を行うことで保護者の経済的な負担を軽減する。 ②対象児童生徒24名×3,166円(GOTOキャンペーン停止によるGOTO対象額)75,984円 ④令和2年度修学旅行予定児童生徒	75,984	75,000	①成果・効果 ・Go Toトラベル事業一時停止措置の影響を受けた保護者負担額の支援。 【対象学校】伊仙小学校 ②評価 新型コロナウイルス感染症に伴うキャンセル料等の支援を行うことで、保護者の経済的な負担の軽減及び学校側にとっても計画性もって年間行事を遂行することが可能となった。	引き続き助成を継続し、学校及び保護者への経済的支援を行う。
25	単	新型コロナウイルス対策学生等臨時支援金事業	教育委員会	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、不要・不急の外出が制限される中、学業に取り組める一助として支援を行う。 ②、③対象者1名につき、5万円を支給する。120名×50千円 ④伊仙町出身で現在島外に移住し、大学、短期大学、専門学校等に在学している学生。(伊仙町内の小・中学校で就学していた者、対象者の保護者が令和2年8月1日(以下「基準日」)において、本町に居住し、かつ、住民基本台帳法による住民票に記載されていること。)	5,819,012	5,819,000	①成果・効果 【学生支援金助成額】5,350,000円 【対象者数】107名(大学61名, 短大2名, 専門学校41名, 高等専門学校等3名) 【その他経費】469,012円 ・消耗品費 439,642円 ・広告料 17,050円(全戸配布 3,100部) ・口座振替手数料 12,320円 ②評価 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不要不急の外出が制限される中、学業に取り組める一助として、経済支援を行った。	必要に応じ支援の方法等を検討していく。
26	単	コロナ対策公立学校清掃・消毒事業	教育委員会	①学校内で感染があった場合、清掃及び消毒活動を実施するために必要な体制を構築する。 ②コロナが発生した学校の消毒作業を行う為の資機材を購入し、消毒作業を行う。それに伴う職員用防護服及び衛生消耗品の購入。 ③(1)防護服セット3,300円×17セット, 手袋990円×10セット, マネ495円×20個, ホリ袋154円×20セット, モップ絞器3,838円×2個, 衛生消耗品保管庫3,938円×2, 90Lゴミ箱6,248円×4, アルコール6,480円×5【計151,924円】(2)次亜塩素ナトリウム2,808円×30箱【合計84,240円】(3)動噴374,000円×1台, タンク39,600円×1台【計413,600円】(4)肩掛け噴霧器14,000円×5台【計70,000円】【総額719,764円】 ④伊仙町立各小学校8校, 中学校3校及び公立幼稚園2園	659,905	659,000	①成果・効果 【感染発生に伴う学校の清掃及び消毒実施箇所】 ・小中5校 ・幼稚園2園 【費用】総額:659,905円 ・学校消毒ゴミ袋・スプレーボトル・ゴム手袋 43,545円 ・輪ゴム・キッチンパック 660円 ・防護服・使い捨てエプロン・シューズカバー 13,860円 ・低食塩次亜塩素酸ソーダ(30箱) 84,240円 ・アルコール消毒液(6缶) 38,880円 ・防護服(5着) 2,470円 ・ゴミ袋・キッチンハイター 22,610円 ・防護服(18着) 40,040円 ・動噴(FL-1タンク500L)1台 413,600円 ②評価 備品等の整備により、迅速に清掃及び消毒が可能となった。このことにより、校内における感染拡大防止対策を講じることができた。	感染者が発生した場合においても、感染防止対策を徹底し、児童生徒の学習保障を図る。また、今後も、必要となる消耗品等の確保を行う。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
27	単	伊仙町闘牛協会支援金	きゅらまち観光課	①コロナ禍の下、続け様に大会が中止され目標を失い愛牛を手放す飼育者が増えるのではないかと懸念している中「闘牛伝統文化」を維持、継続するには闘牛関係者だけでは厳しい状況に置かれることとなり、闘牛協会及び所属する各牛主会員に対し、厳しい難局を乗り切る為の支援。 ②、③闘牛牛1頭につき、1万円を支給する。250頭×1万円 ④伊仙町内の闘牛牛飼育者。	2,500,000	2,500,000	①成果・効果 ・支援金2,230,000円(1頭10,000円×会員223名) ・事務費270,000円(伊仙町闘牛協会事務費等) ②評価 闘牛大会が中止となり、それでも大会を待ち望んでいる飼育者が多数いる状況であった。その中で、支援することにより、目標を失わず持続した飼育・調教が可能となった。	現在、コロナ禍の中でも感染対策を行い闘牛大会が開催されている。闘牛大会は伝統文化、観光とした側面もあるため、何らかの支援が必要である。
28	単	離島における新型コロナウイルス感染症島外療養者気当時の旅費助成事業	健康増進課	①事業目的 離島においては島内の指定医療機関の病床数が限られていることやコロナ感染症療養施設がないことから島外へ搬送されるケースが多く、旅費の負担が大きい。感染者の負担軽減を図る。 ②③帰島時にかかった旅費(飛行機代、船代、バス賃、電車賃)の実費額を助成。 徳之島~鹿児島(飛行機+空港バス)15,350円×65人≒100万円 ④新型コロナウイルス感染症の感染者で島外での療養で旅費負担があった者	145,500	145,410	①成果・効果 12名 ②評価 新型コロナウイルス感染症の陽性者で島外で療養を余儀なくされた方が、療養を終えて帰島する際の旅費自己負担分を助成することができた。	新型コロナウイルス感染症の終息宣言が出されていないことから、引き続き島外で療養された方々の帰島時の旅費を助成し、負担軽減を図っていきたい。
29	単	新型コロナウイルス対策検査時個人負担助成事業	健康増進課	①事業目的 新型コロナウイルス感染症診断にかかわる検査時の初診料自己負担分を助成し、感染者の負担軽減を図る。 ②③感染症診断にかかわる初診料 本人負担分3,000円×333人≒100万円 ④新型コロナ感染症の診断を必要とされる者	996,760	996,760	①成果・効果 489件 ②評価 新型コロナウイルス感染症診断に係る検査時の初診料自己負担分を助成し、感染者の負担軽減を図ることができた。	新型コロナウイルス感染症の終息宣言が出されていないことから、引き続き検査時の初診料自己負担分を助成し、負担軽減を図っていきたい。
30	単	公共的空間安全・安心確保事業2	総務課	①感染症感染拡大防止のためサーマルカメラを整備し空港での検温作業を行い感染者の早期発見できるよう体制を整備する ②備品購入・検温委託 ③・サーマルカメラ(1式)440,000円 ・検温業務委託(R2.11~R3.3)1,198,639円 ④備品:町内公共施設にて設置 委託:町内の一般社団法人へ委託	1,638,639	1,638,000	①成果・効果 検温実施場所:徳之島空港 実施期間:R2.11~R3.3(5ヶ月) 購入機器:サーマルカメラ(1台) ②評価 来島者や帰島者の空港での検温作業を実施したことで発熱者を把握し、感染拡大防止を図ることができた。 機器についても庁舎や各施設での発熱者の把握ができた。	R4からは空港設置町にて検温作業を行っているが、国や県の対応、感染拡大が懸念される際は町でも実施を検討する。 機器については各施設で活用し発熱者の把握に努める。
31	単	アイランドピック事業	きゅらまち観光課	①コロナ禍で消沈している町民を活気づけるため群島の各青年団体が奄美群島一斉打ち上げ花火のイベントを行う ②事業補助金(花火経費のみ) ③花火打ち上げ2ヶ所75発 1,000,000 ④運営団体(町商工会青年部)	1,000,000	1,000,000	①成果・効果 町内2カ所で花火を計画通り75発を打ち上げ。安全管理等を徹底しトラブル等と無く実施。 ②評価 コロナの影響で様々なイベントが中止されている中で花火打ち上げを実施したところ町民から多くの好評を得た。	今後も様々なイベントを計画及び実施し町活性化へ繋げていく。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
32	-	-	-	-		0		
33	補	地方消費者行政強化交付金	未来創生課	【消費者行政強化事業】 ①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、島外の弁護士との対面相談が困難な状況であるため、オンラインによる相談を実施することで、消費者トラブル等の解決を図る。 ②オンライン相談に使用するパソコン一式 ③オンライン相談に使用するパソコン購入費 ④伊仙町(事業実施主体)	291,280	146,000	①成果・効果 パソコン・スピーカー一式購入 ②評価 弁護士相談会を4回実施し、20名の相談に対応できた。また、電話相談では、通信販売などの解約トラブルや架空請求に関する相談などが寄せられた。	適切に相談員を配置し、相談者への早急な対応を行う。またクーリングオフの活用方法等消費者教育・啓発活動を行い消費者行政の健全化促進を図る。
34	補	学校保健特別対策事業費補助金	教育委員会	(学校保健特別対策事業費補助金) ①感染症対策として集団感染のリスクを避けるため各小中学校の水道蛇口をレバー式に交換することにより児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備促進。 ②水道蛇口購入及び設置委託料 ③・小中学校水道設置総数1100×550円=605,000円 ・設置工事委託料1,031,580円 ④伊仙町立小学校8校及び中学校3校	1,636,580	818,000	①成果・効果 【対象】 ・小学校8校 642カ所 レバー式水道蛇口710個 ・中学校3校 400カ所 レバー式水道蛇口390個 ②評価 頻繁に生徒が行きかい、手で多く触れる箇所なので、レバー式にしたことにより触れる時間も短くなり、生徒の滞在時間も短くなったことで、集団の感染リスクを下げることに役立った。	今後も衛生管理に係る設備の充実に努め、より安全安心な児童生徒の環境を整備していく。
35	-	-	-	-		0		
36	補	学校保健特別対策事業費補助金	教育委員会	(学校保健特別対策事業補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)) ①各学校が学校再開に際して、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障するため学校教育活動の再開を支援する経費 ②、③各小中消耗品400,000円+備品600,000円×11校	10,766,000	5,383,000	①成果・効果 【対象校】 ・小学校 8校 ・中学校 3校 【主な購入費(小学校)】 ○消耗品 コピー用紙・トナー・手指消毒液・石鹸・サーキュレーター・ベットシーツ等 ○備品 スポットエアコン・webカメラ・スピーカー・体温計・保健室カーテン・CO2モニター等 ②評価 コロナ対策で必要な消耗品や備品が不足していた中で、各学校ごとで、必要な物品の購入をする事ができ、コロナ前と比べると感染症対策に関する予防については、飛躍的に上がっていると感じる。今後についても、引き続き感染症の予防に努めたい。	今後も、導入した備品を活用し、職員や生徒の感染リスクの軽減を図る。また、学校行事等の短縮など、多くの人がかか所に留まる時間を短縮するような工夫も行いたい。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
37	補	奄美群島振興交付金	きゅらまち観光課	<p>【長寿と子宝のまち滞在型観光促進事業】</p> <p>①コロナ収束後の観光客の増加を図るため、島外在住の方へ町公式サイトやSNS等で本町をPRする。また、町内観光地・観光施設・観光イベント等での体験についてアンケート調査を実施するとともに、町内で使用可能なクーポン券を発行し、観光客の滞在促進を図る。さらに、アンケート結果を基に、町内で実現可能な滞在型観光ツアーの企画・開発を行う。</p> <p>②クーポン発行費用、RP映像制作委託費、パンフレット作成・事業周知用チラシ作製費、ホームページランディングページ作成委託費、滞在型観光ツアーの企画・開発委託費</p> <p>③クーポン発行費用22,775,000円、RP映像制作委託費7,997,000円、パンフレット作成・事業周知用チラシ作製費997,000円、ホームページランディングページ作成委託費275,000円、滞在型観光ツアーの企画・開発委託費18,956,000円</p> <p>④伊仙町(事業実施主体)</p>	50,095,025	15,028,121	<p>①成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業案内チラシ2回作成4,000枚 ・事業案内ポスター作成200枚 ・クーポン券作成4,500冊 ・観光パンフレット5,000部 ・観光PR映像作成2回 <p>②評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR映像を作成し観光客へ本町の魅力をアピールした。また、本町の観光パンフレットを作成したことで来島した観光客への観光地等の案内が容易にでき、クーポン券を発行することで徳之島での滞在日数の増加を促した。本町のみで利用できるクーポン券なので商店などの経済活性化にもつながっている。 	<p>・今後積極的に新型コロナウイルス感染症の影響で経営環境の厳しい商工業の振興発展と地域社会の活性化のため官民連携を強化し支援する。</p>
38	補	奄美群島振興交付金	奄美群島広域事務組合(未来創生課)	<p>【奄美群島エコツーリズム魅力体験事業】</p> <p>①認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップを図るとともに、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の制作配信による観光客(インバウンド含む。)へのPR及びモニターツアーを実施することで、観光客の誘客、満足度向上及び滞在促進を図る。</p> <p>②負担金 (その他の内訳)鹿児島県・奄美群島11町村</p> <p>③ワーケーションモニターツアー実施委託料、シマ博覧会モニター事業委託料、ワーケーションモニターツアー等広告費、事務局旅費等</p> <p>④奄美群島広域事務組合(事業実施主体)</p>	14,885,737	303,737	<p>①成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝金 24,400円 ・事務局旅費 169,800円 ・切手代 180,000円 ・切手代 13,000円 ・委託料 9,250,000円 ・レンタカー代 69,237円 ・事務局旅費 121,300円 ・委託料 5,058,000円 <p>②評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 郡内一帯となった取り組みによりツアーガイド等の育成に繋がった。 	<p>世界自然遺産登録を契機に多くの観光客が見込まれるが、ツアーガイドや案内士を育成し、受け入れ態勢を整えていく。</p>
39	補	奄美群島振興交付金	奄美群島広域事務組合(未来創生課)	<p>【奄美群島滞在型観光促進事業】</p> <p>①あまみシマ博覧会の助成を行うことで滞在促進の流れを作る。さらに、ワーケーションを行うことで奄美群島に来島する観光客の増加を図り、滞在型観光促進につなげていく。</p> <p>②負担金 (その他の内訳)鹿児島県・奄美群島11町村</p> <p>③(ガイドツアーに特化したPR動画作成・オンラインツアー実施委託料、エコツアーモニター費用(参加費助成)、新しい生活様式に対応したエコツアー実施に係る消耗品等購入費助成、各島における研修・意見交換会に要する費用等)</p> <p>④奄美群島広域事務組合(事業実施主体)</p>	16,646,281	339,263	<p>①成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局消耗品 156,800円 ・事務局旅費 89,870円 ・PR動画制作委託 12,884,960円 ・シマ博覧会委託 3,514,651円 <p>②評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 島内在住者、または観光客が奄美群島の魅力を知ることにより、奄美群島の潜在的可能性を広く国内外に情報発信し、観光客の滞在促進につなげることができた。 (令和2年度あまみシマ博覧会体験促進事業委託業務) 島内在住者、または観光客が奄美群島の魅力を知ることにより、奄美群島の潜在的可能性を広く国内外に情報発信し、観光客の滞在促進につなげることができた。 	<p>新型コロナウイルスの流行に伴い、緊急事態宣言が発令され多くの企業でリモートワークが普及している。このような現状を踏まえ、ワーケーションに着目し新たな仕事環境を構築する。また、滞在型観光促進に取り組むことで、コロナの影響で停滞した奄美群島内の観光業、宿泊業、飲食業等の景気回復に繋げることに取り組む。</p>

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	補助・ 単独	交付対象事 業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	実施内容の成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	今後の方向性
40	補	学校臨時休 業対策費補 助金	教育委 員会	(学校臨時休業対策費補助金) ①新型コロナのため学校が休校となり、供給される予定であった食材 等の補償を行う。 ②給食停止に伴うキャンセルにより、給食用牛乳を製造できなかった分 の補償額 ③伊仙小学校減数2516 * 36.184=91039円 面縄小学校減数1605*36.184=58,075円 犬田布小学校減数1126*36.184=40,743円 鹿浦小学校455*36.184=16,464円 馬根小学校214*36.184=16,464円 糸木名小学校減数387*36.184=14,003円 喜念小学校減数383*36.184=13,858円 阿権小学校減数360*36.184=13,026円 伊仙中学校減数1030*36.184=37,270円 面縄中学校減数691*36.184=25,003円 犬田布中学校減数592*36.184=21,421円 給食センター減数195*36.184=7,056円 合計345,702円	345,702	86,000	①成果・減数 延べ6,822人、金額 259,000円 効果・令和2年度、コロナ感染による休校措置 で、給食食材等の補償を余儀なくされたが、こ の補助金を活用できた。 また、急な給食停止によるキャンセル料にも 補填できたことで、より効果があった。と考え られる。 ②新型コロナのため学校が休校となり、供給 される予定であった食材等の補償及び給食 停止に伴うキャンセルにより、給食用牛乳を 製造できなかった分の補償が出来たことが評 価される。	本町では、令和4年度より「給 食費無償化」が始まり、児童 生徒の給食費を町税で賄って はいるが、コロナ感染による給 食停止が出ていることを考え ると、急なキャンセルに対応で きるこういった補助金があれば、有難いので、今後も活用し たい。

460,400,497 360,450,918